

01 ネット時代の成功例に学べ!

パッケージを“活用”したプロモーション動画

▶ 日本の菓子メーカーA社のサブレは、5枚入り小分けパックが開けにくい。その声をヒントに同社は「小分けパックを美しく開封できるか選手権」というWEB動画を制作した。

対戦者は、指先の器用さに自信のある男性と、A社所属のパック開け女性アスリート(という設定)。「OPEN!」の号令でパックを開け始めるが、男性選手は勢いが強くてちぎれてしまう。女性アスリートは袋を横に穏やかに引いて開封し、勝利を収めた。そして、動画は美しい開け方の説明で終了。不評を逆手に取る内容で注目を集めた。

▶ イギリスのクラフトビールメーカーB社が瓶から缶への切り替えをPRするために、瓶のラベルの絵が動くストップモーションアニメをネットで公開した。

アニメのテーマはビールを飲む時のイメージ。「オレンジでいっぱいプールに飛び込む」といった独特な内容で、特設サイトでの募集から選ばれた。それを1コマずつビールのラベルにして約400本のボトルに貼り撮影した。1分間の短い動画だが、手の込んだ映像で面白いと話題になった。

02 繁栄企業の成功要因を探る

住みやすい住宅を提供するために不動産会社が始めた取り組み

▶ 千葉県松戸市にある不動産会社A社は、住人の住みやすさを、賃貸や売買する不動産物件だけでなく、地域社会のつながりでも実現することを目指している。

その一つの方策が、10年前から耕作放棄地の田んぼを借りて行っている米作りだ。入居者や町の人たちと春の田植えや秋の稲刈りをする事で、地域の人たちのつながりができて、住みやすい町を作ろうとしている。

▶ 近所の騒音や使い勝手の悪さなどの住宅に関する困りごとは、数十分間その家を見るだけではわかりにくい。

そこで、デンマークの大手不動産会社B社は、売り物件に宿泊できるサービスを始めた。希望者は予約すれば、購入を検討している家に宿泊できる。上等なベッドシートやバスタオルが用意されているので、宿泊者は高級ホテルに泊まるような感覚でゆっくり家と周辺環境を見極めることができる。

納得いくまで物件を確認し、高級感を味わえるサービスに満足して、成約に結びつきやすくなった。



Check! 要チェック! 進化するプロモーション手法に必要な基礎知識

情報発信手段としての利用が増えているnote  
新しいコンテンツプラットフォームの利点《後編》

自社サイト(オウンドメディア)とSNSの利点を兼ね備えたプラットフォームnoteを活用する企業が増えている。具体的にどう利用しているか、さらに利用する際の注意点を考える。

noteを活用する企業

新潟のネット広告代理店は、noteとコーポレートサイトを連動させ、どちらから流入しても相互に閲覧できるようにしている。noteのコンテンツは社員のインタビュー、オフィス開設の話、社長のエッセイなどで、「働く人」「働く環境」「イベント」などユーザーが見やすいようにカテゴライズしている。社内の様子や事業に対する思いが伝わり、社内広報としても、社員募集のための会社案内としても効果的だ。

大手ビール会社は、ビールに合う料理のレシピ、ビールを美味しく飲む方法、なぜ泡があるのかといった疑問、製品の魅力や楽しみ方などをnoteで発信している。

また、他社アカウントとコラボして、ビールやおつまみの思い出に関するエッセイを、ハッシュタグをつけて投稿するコンテストも積極的に実施し、それぞれ2,000~4,000件の投稿が集まった。

有料動画配信の会社では、作品に出会う「きっかけ」を提供するために、noteで映画やドラマの紹介を行っている。また、著名人によるオリジナルドラマの批評、作品の舞台となった国の文化背景や食文化についての解説、リアリティショーの出演者インタビューも掲載している。

北陸地方の老舗酒蔵の社長はnoteで事業継承やSDGsに関する考えを綴り、経営理念に対する考えや想いを読者に伝えている。また、使用する酒米を作る契約農家を紹介し、品質の良さのアピールにも努めている。

note利用の注意点

様々な形で活用できるnoteだが、注意する点もある。まず、noteの画面はデザインが固定されていてカスタマイズしにくい。文字の装飾にも限度がある。そのためデザインを凝らしたサイトを作ることは難しい。

また、有料プランのnote proでなければ独自ドメインを取得できないので、無料会員でユーザーが覚えやすいドメイン名を独自に設定することはできない。

この点を踏まえた上で、SNSとオウンドメディアに加えてnoteも活用すれば、新しい情報発信が可能になるだろう。

※記事内の情報は2022年10月現在のものです。